



2025 年 7 月

- [今回のリリースでの新機能 \(1 ページ\)](#)
- [このリリースでの変更点 \(2 ページ\)](#)
- [問題 \(2 ページ\)](#)

今回のリリースでの新機能

Cisco Spaces に以下の新機能が導入されました。

キャプティブポータル：アクセスコードマネージャ（ACM）機能

Cisco Spaces ダッシュボードでは、アクセスコードマネージャ機能により、信頼できるデバイスのオンボーディングと管理が改善されました。管理者は、ダッシュボードから直接デバイスを信頼できるようになり、コントローラを手動で設定したり、複数のシステムにログインしたりする必要がなくなりました。ダッシュボードでは、キャプティブポータルブラウザを使用しないデバイスがサポートされているため、安全なオンボーディングが可能になり、管理者は設定可能なテンプレートを使用してセッション期間と帯域幅制限を設定できます。

このリリースでは、ダッシュボードで作成されたオンボーディングテンプレートと認証プロファイルが、Cisco Spaces Radius エンジンによって自動的に解釈および適用されるようになり、環境全体での一貫性が維持されます。デバイスのオンボーディングステータスとポリシー適用がリアルタイムで監視できるため、必要に応じて迅速な検証とトラブルシューティングが可能です。

管理者が再利用可能なテンプレートを作成、更新、廃止し、ロケーションまたは SSID によりテンプレートを割り当て、組み込みの予防対策とデバイスの関連付けを維持することで、テンプレート管理が合理化されます。ゲストの滞在や運用ポリシーに合わせて、必要に応じてデバイスのアクセスをプロビジョニングまたは取り消すことができます。MAC アドレス検証機能と集中監査機能の向上により、ネットワークセキュリティが強化されています。

これらの更新により、デバイスのオンボーディングと管理がより効率的かつ安全になり、Cisco Spaces の展開全体で大規模な運用ニーズがサポートされるようになりました。

パートナーダッシュボード：新しいイベント

Cisco Spaces - パートナーダッシュボードエコシステムで、**デバイスの関連付けイベント**タイプの設定がサポートされるようになりました。このイベントは、デバイスが SSID に正常に接

続するか（**ASSOCIATE**）、SSID から切断された（**DISASSOCIATE**）ときにトリガーされます。

このリリースでの変更点

Cisco Spaces ベータ版 UI では、以下の機能強化が加えられました。

アクティベーション要求 - リマインダメール

Cisco Spaces プラットフォームでは、まだアカウントをアクティブ化していないユーザーが新たに招待された場合に、一連のリマインダメールを自動的に送信するようになりました。最初の招待でアカウントがアクティブ化されなかった場合は、2 日目、4 日目、5 日目に追加のリマインダが送信されます。そのため、リンクの有効期限が切れるまでにアクティブ化を完了できる機会が増えます。

加えて、Cisco Spaces プラットフォームから直接アクティベーションリンクの再送信を要求できるようになりました。要求があるとすぐに新しいアクティベーション E メールが生成されて配信されるため、サポートや手動での処理は必要ありません。

これらの改善により、オンボードが容易になり、アクティベーション要求に迅速に対応できるようになるため、サポートの遅延が減少します。この機能強化により、適切なタイミングでリマインダを受け取り、必要なときにいつでも新しいアクティベーションリンクを簡単に取得できるため、アクティベーションプロセスがシンプルになります。

パートナーダッシュボード：シスコの Magnetic 設計

Cisco Spaces - パートナーダッシュボードのユーザー体験は、Cisco Spaces - パートナーダッシュボードエコシステム全体での一貫性のある直感的なグラフィカル ユーザー インターフェイス（GUI）に関するシスコの Magnetic 設計ガイドラインを遵守することで強化されます。

以下が強化されています。

- 読み込み時間の短縮と連携動作の円滑化
- 使いやすさとユーザー補助の向上

問題

「問題」では、Cisco Spaces アプリケーションでの予期しない動作について説明します。

未解決の問題

Cisco Spaces のこのリリースに未解決の問題はありません。

解決済みの問題

この項では、Cisco Spaces のこのリリースで解決された問題を示します。

表 1: *Cisco Spaces* の解決済みの問題

問題識別子	問題の説明
CSCwq20645	サブスクリバリセット API が機能しない
CSCwq45099	Service Manager 3.2.3.8 の更新により、ローカルの Firehose 更新がドロップされる
CSCwq36587	ロケーション 3.2.2.4 へのアップグレード時にプライマリインターフェイスで IPv6 が有効になる

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。